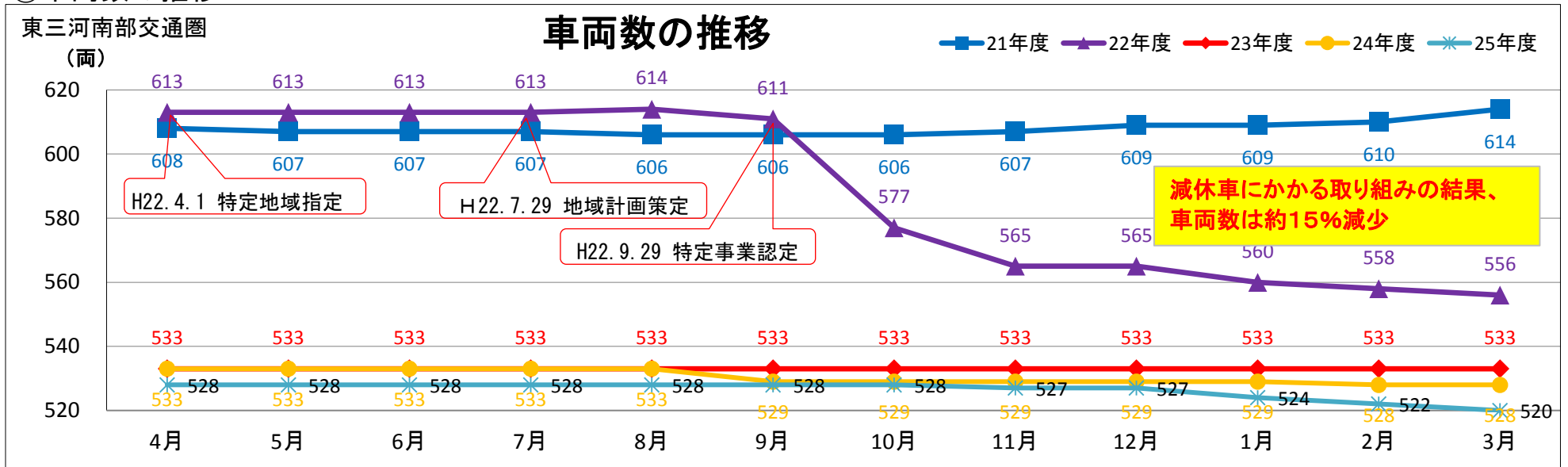


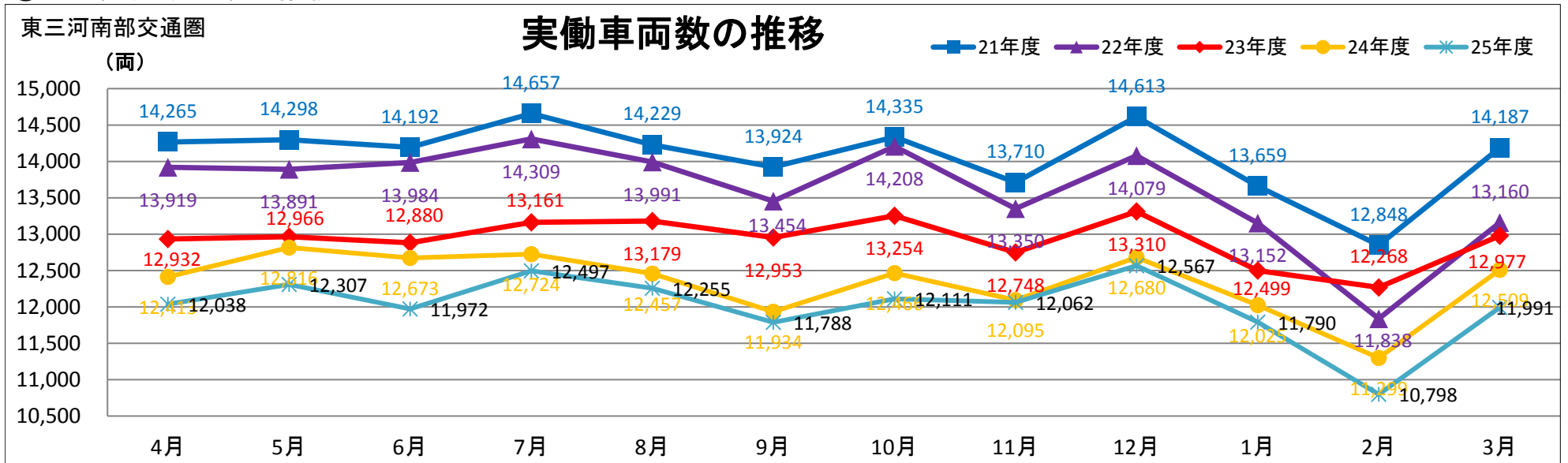
東三河南部交通圏タクシー輸送実績の推移

資料 1 - 4

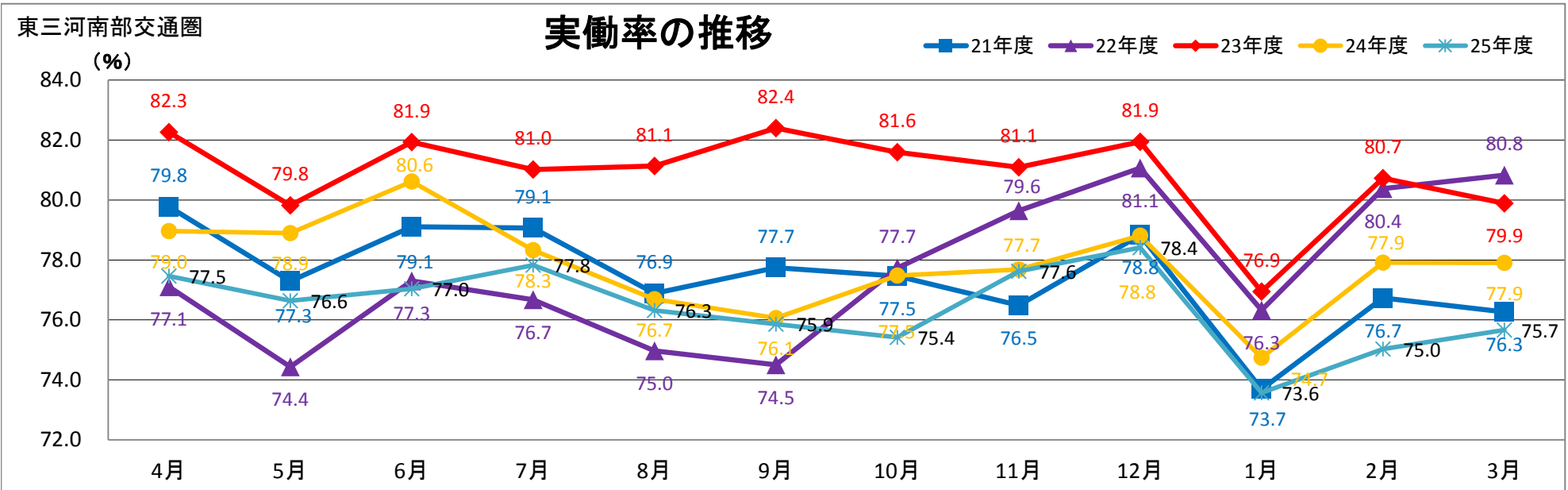
①車両数の推移



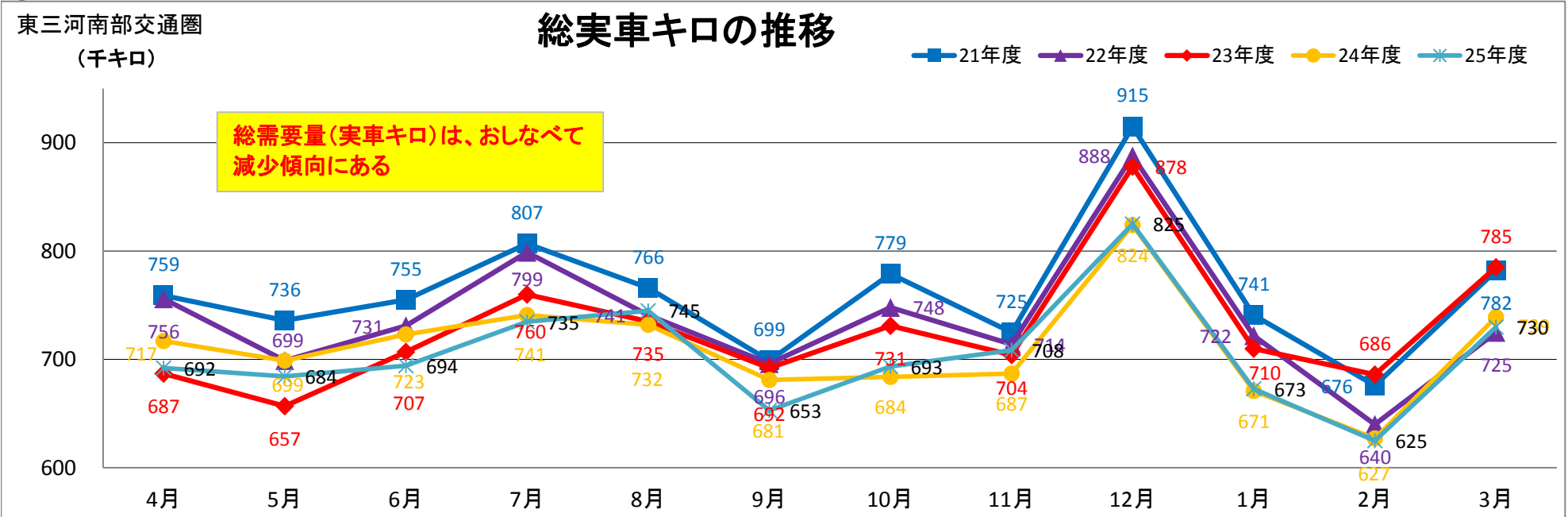
②延べ実働車両数の推移



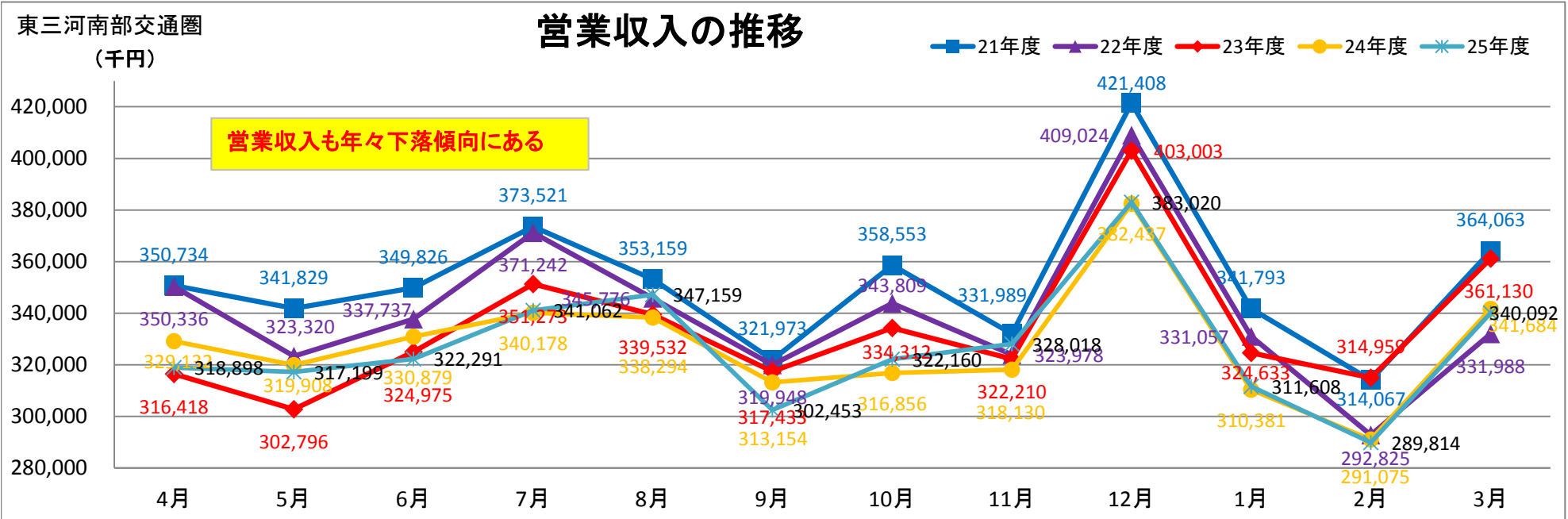
③実働率の推移



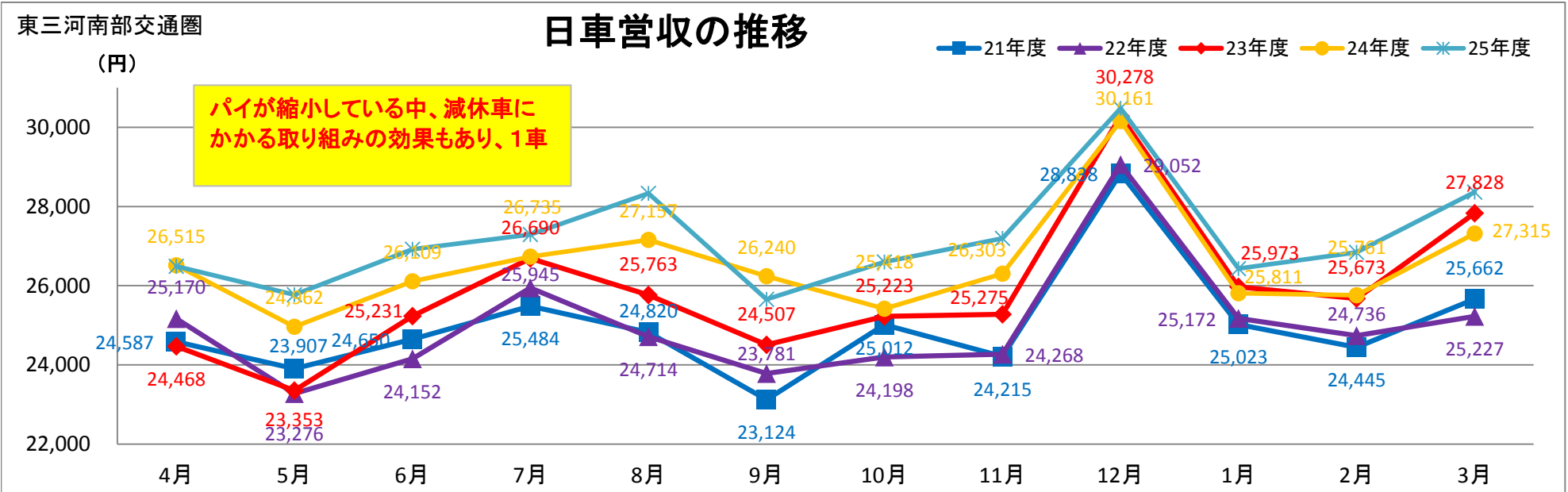
④総実車キロの推移



⑤ 営業収入の推移



⑥ 日車營收の推移



◆総需要量、総供給量、日車營收の増減率の推移の比較

供給量については、平成22年9月の特定事業計画の認定を受けて、減・休車が進んでおり、延実働車両数は減少している。
 総需要量（総実車キロ）については、一貫して厳しい状況が続いている。震災による需要減の反動により、平成24年2月以降は一旦回復傾向が見られたものの、24年7月以降は再び対前年比マイナスの状況が続いている。
 そういった中、日車營收（1車両あたりの営業収入）をみると、総需要が落ち込んでいる中おおむね対前年比プラスで推移しているため、ここに各社が減休車に努めた効果が伺える。

東三河南部交通圏

総需要量、総供給量、日車營收の増減率の推移(対前年同月比)

